

アフリカにおける統合的湖沼流域管理 (ILBM) の拡大

〒525-0001
滋賀県草津市下物町1091番地
電話:077-568-4567
E-mail:infoilec@ilec.or.jp
http://www.ilec.or.jp/



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



アフリカにおける国際ワークショップ

ワークショップ(ケニア)
参加者数 **74人**

湖沼概要書の作成(改訂)
湖沼数 **5湖沼**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する
達成度 **67%**

課題

アフリカの湖沼流域はさまざまな課題を抱えているが、これに対する現地政府の現在の取り組みには、湖沼の自然科学的特徴等に対する認識が反映されていないといった課題がある。

目標

湖沼保全、開発についてのケニアにおける国策、国家戦略にILBMが組み込まれ、ILBMを通じて湖沼の効率的・効果的な保全が自律的に進められる仕組みを構築する。

活動内容と成果

湖沼環境の改善には包括的かつ継続的アプローチが必要であり、これを実現するためには統合的湖沼流域管理(組織・体制、政策等6つの要素を包括的に捉え、湖沼流域のガバナンスを改善していく管理手法)が有効であ

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

「国家戦略草案」作成に当たっては、広くケニア各地のステークホルダーとコンセンサスを得ることが必要になった点。

■ 工夫した点

国際機関、ケニア国政府、地方政府、現地NGO等、湖沼流域管理に関する様々なステークホルダーとともに活動した。



る。当財団は3年間でシンポジウムやILBM推進の原動力となる人材育成等を通じ、アフリカにおけるILBM活動を支援することとしている。

活動2年目においては、ILBMの概念が組み込まれた湖沼保全、開発についてのケニアにおける国家戦略草案が作成され、湖沼の効率的・効果的な保全が進められる基盤作りが進んだ。



ワークショップ登壇者

今後の展望

国家戦略草案に関し、今後ステークホルダーが実行していくための支援を強化していく。また、平成30年10月に茨城県で開催される「第17回世界湖沼会議」において、国家戦略等について発表し、発信する。